

美術手帖

BT | 2015.08
vol.67 NO.1024

ヴェネチア
ビエンナーレ
Artist Interview
堀浩哉

特集

ファッション

の現在地

明日を生きる者の
抱くべきの手!!

藤原道隆・玉城ティナ
NORIKONAKAZATO × 堀未央奈(乃木坂 46)
山縣良和(writtenafterwards) 黒河内真衣子(mamei)

架空の考古学、あるいは、

宇宙を針穴に通すということ

鈴木ヒラク「あなたの記号」展

北出智恵子 評

ドローイングは絵であり言葉。詩であり音楽。身体をともなうダンス、パフォーマンス。それは、運動態として、光として、空間に、時に、新たな回路を開通させる。鈴木ヒラクの個展「あなたの記号」では、このようなドローイングという領域の拡張が表明、実践されていた。

鈴木は制作姿勢について、「今までは針穴から宇宙を見ていたけれど、今度は宇宙を針穴に通そうとしている」と語る。鈴木が思考するドローイングの在り方を紐解く興味深い言葉だ。視覚表現を始めて以降、枯れ葉、マンホール、壁といった身近な物質を手がかりとした、身体が密接に関わるドローイング行為が主流であった。

光に追いかけられているような感覚にみまわれる。

近年、そして本展の作品群では、反射、発光など、鉱物の性質がもたらす現象がドローイングの素材として積極的に取り入れられる。会場のひとつである、回廊の一部のようなカーブした空間の長い壁面の一方には、高さ6メートル、全長約55メートルの壁画《歩く言語》が展開される。シルバーのマー

カーとスプレーで短期間に描きあげた大作だ。水平線を繰り返し描くことが自身の場への関わりの基調、パルスとなり、そこに上下左右に様々な線、点、かたちが載せられ、それらは空間に浮遊し、拡散する。作品はあまりに広大で一望できず、鑑賞には歩くという運動を伴うが、このとき、発光する光を追いかけると同時に後ろから

する行為としてドローイングを試みる。宇宙を針穴に通すように。

回廊のもう一方の壁面には、《casting》91点が一列に配された。これらは鈴木が収集した世界各地の博物館カタログの、写真図版の皿、壺などの輪郭をなぞり、ステンシルの手法でくり抜いた面にシルバーのスプレーを施したもの。元来の形体、記録は抹消され、影と背景という痕跡に、シルバー面による未知の次元が輝きを放つ。《casting》における「なぞり」「版をつくって」「象る」ことによる「転写」、ネガとポジの「反転」と「反復」は、鈴木が以前行っていた

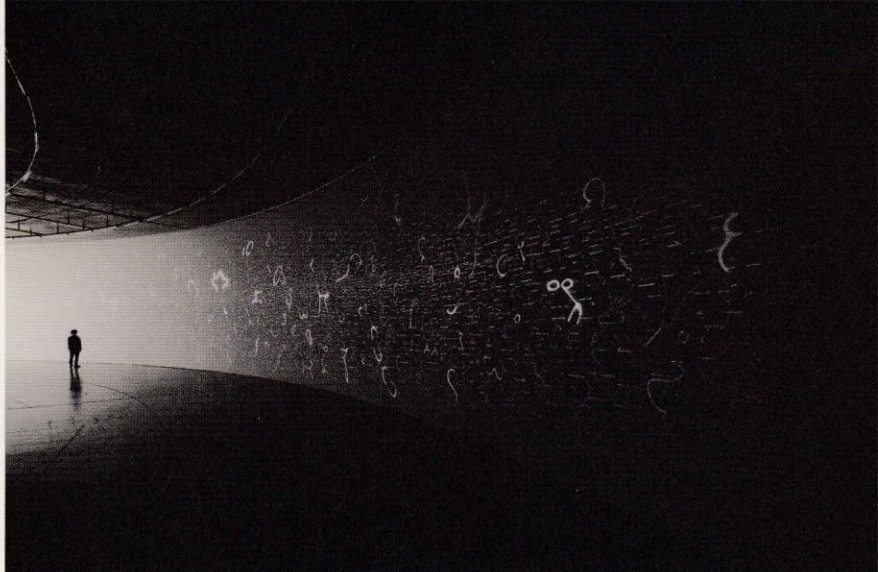
ワールド・レコーディングにおける「録音」と「再生」にもつながる。これらのプロセスを経て、イメージは原型から自立し、移動しながら増殖し、積層していく。タイトルの「casting」は「铸造」とともに、「釣りにおいて」仕掛けを遠くに投げる」ことも意味する。鈴木は、あなたの存在を照射

隣の部屋には、黒の紙にシルバーのスプレーやマーカで即興的に描かれた線を複写した写真作品《GENZO》84点。別室には、A4サイズのドローイング《GENGA》1000点をスキヤンし、モーフィングでつなげた映像と、形状様々なりフレクターの発光が象る大きな《鍵穴》が宙に浮かぶ。いずれも鈴木の初動が留められた線に、反転、反復が重ねられることにより、非物質的な現象、無重力的な軽さと多方向的な様相が浮き彫りにされる。

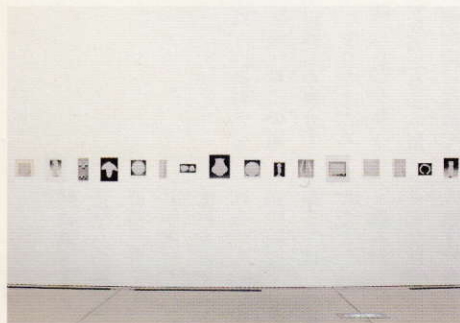
本展における創造の瞬間は「記録」され得ない。人の往来、時間、周囲環境により変容するからだ。だが、見る者の心身に確実に「記憶」される。そして、移動は続き、次の場で再び「反転」が起こる。

PROFILE

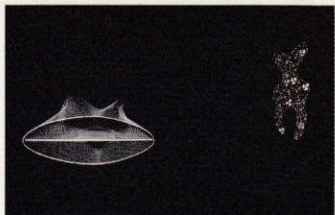
さだち、ちえこ 金沢21世紀美術館ギャラリー、1974年生まれ、主な企画展に「ソニーミュージルそして観望」(2013年)など。



歩く言語 2015 シルバースプレー、シルバーインク
55.35×6m



左—casting 2010-15
博物館のカタログ切り抜き、シルバースプレー サイズ可変
右—写真左は (GENGA #001 - #1000 (video))(2009)、
同右は《鍵穴》(2015)
撮影=小山田邦哉



言語と空間 vol.1

鈴木ヒラク「かなたの記号」

青森公立大学国際芸術センター青森 [ACAC]

鈴木ヒラクは1978年宮城県生まれ。2008年東京藝術大学大学院美術研究科修了。描く行為を主題に、壁画、映像、パフォーマンスなどを展開。主な個展に11年「Glyphs of the Light」(ウィンブルドン・スペース、ロンドン)、グループ展に13年「ソリエリユミール、そして叡智」(金沢21世紀美術館)など。本展は連続する2つの個展シリーズ「言語と空間」の第1回。第2回は蓮沼執太。企画は服部浩之。会期中にはライブドローイングイベントも行われた。



台湾可愛
青山裕企

台湾可愛 Taiwan Kawaii School Girl

飾らない「カワイイ(可愛)」があふれ出す。
日本初登場! 話題の台湾制服美少女たち。

写真家・青山裕企による、台湾の制服美少女写真集。「女子高校生 制服総選挙」が開催されるなど、制服ブームに沸く台湾で、16人の原石の、純朴で天真爛漫な輝きを撮りおろしました。日本の女の子とはどこか違う…飾らない「カワイイ(可愛)」が満載の一冊です。

著者=青山裕企

ISBN=978-4568120820

定価=2,000円+税 23.2×18.2×1.8cm 136ページ



美術出版社

BIJUTSU SHUPPAN-SHA CO., LTD.

〒102-8026 東京都千代田区五番町4-5 五番町コスモビル2階

[営業部] TEL:03-3234-2153 FAX:03-3234-9451 E-mail:book@bijutsu.co.jp